

チャン・ジェイソン さん（「日本語学習サロン」生徒）の投稿です。

こんにちは。私の名前は、ジェイソン・チャンです。伊丹の日本語学習サロンは、経験も豊かで友好的な先生方から日本語を学ぶためにとってもいい場所です。先生方は、生徒が何を学びたいかというところに焦点をあてながら生徒と一人対一人で教えます。また、生徒の能力や学ぶ期間を理解して対応してくれます。

先生方は、日本語を教えるだけでなく、私たちに日本独特の文化を体験させてくれます。例えば、私たちは、去年のクリスマスパーティの時に風呂敷で弁当箱や色々な物を包むことを習いました。そして、日本の歌謡曲を歌いました。また、先生は私を公民館まつりに誘ってくれて、油絵の展示を見たり、茶道を経験させてくれたりしました。さらに、サロンがきっかけとなった社会的な活動の中で、日本語が向上しました。

私は、11月の伊丹マダンに参加し、市民の皆さんの前で私の経験やアメリカ人について日本語で話しました。

このように、生徒は、日本で色々な体験をして学ぶ間に、自分も社会の役割があると感じることができます。私は、日本語を学ぶことに興味を持っている皆さんに教室の見学を強く勧めます。そして、私たちと一緒に楽しんでほしいと思います。私は、日本語学習サロンに参加して後悔しないことと、誰もが成長しながら有意義な時間を持てることを確信しています。



牧野さんとチャンさん

牧野 登さん（「日本語学習サロン」ボランティア講師）の投稿です。

皆さんこんにちは。牧野と申します。日本語学習サロンで外国人の皆さんに日本語を教えて7年になります。今まで、ドイツ人、中国人（3名）、ウクライナ人、そして、アメリカ人のジェイソンさんと教えた生徒さんは、6名になりました。

1年間では、90分授業が約40回となります。まったく日本語を知らない方に日本語を教えることは想像以上に難しく、生徒さんと共通語がないとなかなか授業も進みません。サロンの教科書にそって授業を行いますが、サロンに参加した当初は、尼崎の日本語教師のための講座に1年間通いました。中国人の生徒さんとは、中国語に変換できる電子辞書が必需品でした。他の生徒さんとは、英語がベースとなっています。生徒さんも仕事を終えてからの授業となるので大変です。授業では、生徒さんの負担にならないように「楽しく」勉強できることを心がけ、日本の文化などについてもできる限り教えています。生徒さんの中に介護士の資格を取りたいと言う方がいて、テキストの分からない所を一緒に勉強しながら資格を取得して、介護士の仕事をされている方もおられます。外国から留学や研修・技能取得・結婚などで来日し、在留される人は年々増加しており、サロンにもアジア以外からの方も増えてきました。

外国には、日本語学習サロンのような、ボランティアが生徒さんに個人指導で語学を教えてくれるような所がないので、とてもいい制度だと感謝されます。これから、日本語学習サロンは、外国人の方にますます必要とされる場所になっていくと思われます。サロンを通じて生徒さん達とお互いの理解が深まり、少しでも生徒さんの生活向上や、国際親善などに役立つことを願っています。